

一葉作品で甦る 当時の人々の日常とは



吉原大門



東京名所案内 上野山



東京名所之内 浅草金龍山ノ圖



東京名所四十八景 新よし原みかえり柳 (部分)

同時開催イベント

※会場はいずれも、一葉記念館研修室

【5月】くずし字解説講座「江戸時代の文書を読もう！」(全4回)

要申込

◆江戸時代の版本などを読み、その文化に親しみましょう。

講師：浦井正明氏(寛永寺長僧)
定員：30名
受講料：4,000円(資料代込)(※当選後に事前払込 ※初回のみ別途入館料が必要)
申込締切日：平成27年 4月15日(水)(消印有効)

日時：

平成27年 5月8日・15日・29日・6月5日(毎金曜)
午後1:30～(2時間程度)

【6月】第2回 文化カレッジ 一葉文学成立の真髄に迫る ～足で調べた実証的研究資料を基に～

要申込

◆樋口一葉の生涯や作品について深く学べる講義です。
一葉についての研究意欲をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

講師：木村 真佐幸氏(元札幌大学学長)
定員：60名
受講料：1,000円(資料代込)(※当日支払 ※別途入館料が必要)
申込締切日：平成27年 5月22日(金)(消印有効)

日時：

平成27年 6月7日(日)
午後1:00～(2時間30分程度)

講義の内容

凛とした普遍的創見性の一葉文学 ～士族意識、の重圧と生と死の極限で作品を昇華～

1. 「死」への現実認識とその苦悶
(1) 長兄「泉太郎」結核により23歳で夭逝～一葉はわが身の結核予兆に加え、さらに同じ屋根の許での直接感染への慄き～
(2) 従兄「幸作」の死、即日火葬が追い討ち～「一葉日記」(明治27年7月1日)及び「官報」(明治17年10月4日)掲載資料から検証～
2. 一葉の職業作家、思考の注視的要因
(1) 偽造られた士族の亡霊、への確執と武家政治崩壊による母「多喜」過去拘泥の重圧
(2) 両親の郷里脱出コース～山梨塩山から江戸への実地踏査による過酷凄惨な実態紹介～
3. 一葉の危機、～謎の人物・屈折した「久佐賀義孝」問題～50余年の多面的探索検証による立論
4. 結びに代えて…一葉作品の集大成～菊坂から竜泉転居並びに終焉の地丸山福山町と「奇蹟の14ヵ月」との関係～

応募方法

往復はがき裏面に

①希望するイベント名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号

返信表面に

住所 氏名



応募は往復はがきで

をご記入の上、**各申込締切日までに**一葉記念館「イベント名」係宛で郵送してください。応募はお一人様各イベントにつき1通に限らせていただきます。複数名の記入のあるもの、往復はがきでないものは無効となります。